

学校だより

令和5年8月29日(火) 第5号

自ら学ぶ生徒・心の豊かな生徒・強くたくましい生徒

さいたま市立西原中学校

住所 さいたま市岩槻区大字岩槻3750番地

電話 048-756-1117

学校 Web ページ <https://nishihara-j.saitama-city.ed.jp/>

心を元気にする4つの言葉

校長 細井博幸

38日間の夏休みが終わり、今日から2学期のスタートとなりました。この夏は、全国各地で記録的な猛暑となり、熱中症による痛ましい事故も発生いたしました。本市におきましても市教育委員会から熱中症対策に関する通知文が夏休み期間中に発出され、より一層厳密な基準のもとで、熱中症対策を講じながら、8月の部活動を実施いたしました。2学期は、早速体育祭に向けた準備が始まります。猛暑の中での活動が予想されますが、実施時間や内容等を工夫し、万全の熱中症対策を講じながら進めてまいりたいと思います。

さて、先日、8月24日(木)「いじめ防止シンポジウム」が大宮のレイボックホールで実施されました。この会は、市立学校の児童生徒代表、大学生、教職員、地域団体、関係行政機関が一堂に会し、市を挙げて、いじめ防止に向けた取組や「さいたま市子ども会議」の話し合いの内容をもとに、いじめを起させない、見逃さない環境づくりについて考える場となっています。今年10年目の節目の年を迎え、私も校長として初めて参加いたしました。



その会の中で取り組みの一つとして発表されたのが、下記の「心を元気にする4つの言葉」です。

「心を元気にする4つの言葉」

ここをおちつかせることば：大丈夫 (大丈夫?)

ここをはげますことば：自分を信じて

ここがまえむきになれることば：ちよつとずつでいいよ

ここが「ほっ」とあんしんすることば：また明日

この言葉は、全ての市立学校の児童生徒が、大切な人を心に思いながら、大切な人が辛い気持ちになった時どのような声をかけるか、心を元気にする言葉とはどんな言葉かを考え、8月4日に実施された「さいたま市子ども会議」において子どもたちの手によって決定された言葉です。本校の全ての生徒が辛い気持ちを抱くことなく2学期を生活して欲しいと願っておりますが、いじめに限らず学校生活の中で辛い気持ちの友達を見かけることがあると思います。そんな時に、「心を元気にする4つの言葉」が自然と掛け合える西原中学校であって欲しいと思います。また、子どもたち同士だけでなく、御家庭でも地域でも、この4つの言葉が広まり、心元気な地域になれるといいなと願っています。

2学期は、体育祭、新人体育大会、合唱祭、さいたま市駅伝大会、40周年記念式典、西原☆フェスティバル等、行事が数多く予定されています。引き続き、本校の学校教育活動への御理解、御協力をよろしくお願いいたします。